

現場  
代理人  
レポート

# 吉野川下流域農地防災事業

## 旧吉野川揚水機場他建設工事

本地区は吉野川左岸(北側)に位置し、かつては吉野川の氾濫常襲地帯であったため、古くから洪水に悩まされてきました。現在は徳島県きっての農業地帯であり、京阪神方面の重要な農産物供給基地となっています。現場周辺は特産の洋にんじんの栽培が盛んで、優れた品質は市場で高い評価を受けています。

国営吉野川下流域農地防災事業は受益面積5,218haのエリアにおいて、用水路63.3km、取水口2箇所、揚水機場1箇所、管理施設1式を施工するものであり、当現場は旧吉野川揚水機場を建設する工事であります。

工事内容としては、樋門工(L=35m)、護岸工(コンクリートブロックA=1,036㎡、根固めブロック1式)、吸水槽工(1箇所)、排水路工(L=68m)、原形復旧工(1式)を施工するものであります。4月中旬より、樋門工及び排水路工のコンクリート構造物を施工しております。樋門工の施工においては、川の水位より低い箇所での施工となるため、湧水と格闘しながらの施工となっています。監督職員と協議しながら湧水対策や濁水処理を含め、環境に配慮した施工を心がけています。

現在、進捗は17%程度であります。まだまだ竣工までは長い道のりですが、無事故無災害で竣工することを目標にまい進してまいります。



### 監督職員からのエール

本工事は、吉野川下流域農地防災事業の主要施設である「旧吉野川揚水機場」で、旧吉野川からの取水口と吸水槽の土木工事を行うものです。

この揚水機場は、柿原取水口及び第十取水口からの取水量の増加による河川環境への影響を防止するとともに、渇水に伴う取水制限がなされた場合に不足する農業用水を取水し、南部幹線水路及び第十幹線水路に補給するものです。

本工事は河川水位より低い箇所の施工であるため、湧水対策が難しい現場となっていますが、現場代理人の菅所長は、湧水に対して迅速に対応していただき、工事が遅延することなく進捗しています。また、仮回し道路設置に伴い、地域住民への丁寧な対応や工期短縮のための工法変更提案など豊富な経験を如何なく発揮してもらっています。工事は、これから最盛期を迎えますが、引き続き、監督職員と連絡を密にしながら、安全第一で高品質な施設が完成するよう願っています。

#### 監督職員

(写真左) 中国四国農政局四国東部農地防災事務所  
工事第二課長 柴田真基雄

#### 現場代理人

(写真右) 若築建設株式会社  
吉野川作業所 菅 太一

